

知 部 会

〈職員評価結果から〉

- ・理解が不十分な生徒に対して、補充学習を計画的に行っているが、「B」評価（ABC評価）である。
- ・思考力・判断力・表現力をはぐくむために、小グループの話合いや問題解決学習を取り入れているが、「B」評価（ABC評価）である。

〈生徒アンケート結果から〉

- ・目標をもって、けじめのある生活を送ることと答えた生徒は、92%から94%に達した。
- ・自己の向上をめざしたと答えた生徒は、84%から92%に達した。
- ・授業、家庭学習、質問など積極的に行ったと答えた生徒は、65%から85%へ大きく伸びた。
- ・学年+10分の家庭学習を確実に行ったと答えた生徒は、62%から74%とその割合は増えたが、80%に満たない。

〈保護者アンケート結果から〉

- ・全体的に「A」評価は少ないが、「B」評価だけでみると、どの項目でも、80%以上の評価で、更に前期より後期の評価が高くなっている。
- ・補充が必要な生徒への指導が確実に行われていると評価している。
- ・分かる授業・納得して理解できる授業が行われていると評価している。

〈成果〉

- ・年度当初に掲げた4つの教育活動のうち2つ（「宿題」、「一人一実践」など）の実践や、4つの運営活動すべてを根気強く確実にを行い、授業や家庭学習への取組状況が大きく向上した。

〈課題〉

- ・授業や家庭学習への取組状況が大きく向上した生徒が増えた半面、個別指導が必要な生徒がクローズアップされてきた。
- ・言われたこと、出された宿題などはよくやるようになってきたが、自ら主体的に学んでいく、探求していく生徒にまで高まっていない。

〈課題の解決に向けた具体的な実践事項・提言〉

- ・有効であった教育活動、運営活動については、来年度も踏襲していく。
- ・補充学習の実施の仕方（時期や時間帯等含む）について検討していく。
（「学力向上推進システム Web テスト」の効果的な運用と関連付けて）
- ・授業における、話合いや問題解決学習等の活用の仕方について職員研修などを行い、有効な実践につなげていく。
- ・小・中合同研修で作成する「学び方の基本」や中学校作成の「自主学習の進め方」などを活用し、授業や家庭学習の基本をもとに、学んで力が付く授業、分かる授業のための家庭学習につなげていく。